

平成29年度 日の出保育園運営評価（平成30年1月実施） 集計と考察

A(そう思う) B(どちらかという、そう思う) C(どちらかという、そう思わない) D(そう思わない)

項目	質問	評価%				考察	
		A	B	C	D		
経営理念方針	① 経営方針は、保育理念、目標や重点などが具体的に示されている。	50	46	4	0	①①②③ は、共に概ね肯定的な評価です。 ②④ については、これまでも便りや行事など、折に触れて伝えているところですが、今後は、さらに発信の仕方を工夫していきます。 ⑤⑥ については、C評価が15%です。園運営の根幹をなすものですから、全職員で保育理念を共有していくよう工夫しなければなりません。	
	② 経営方針は、日の出保育園の特色が生かされている。	38	58	4	0		
	③ 経営方針は、社会の要請や保護者の願いを反映している。	31	65	4	0		
	④ 保護者に対し、経営方針を十分伝えている。	12	65	23	0		
	⑤ 経営方針は、全職員で共通理解が図られている。	38	46	15	0		
子どもの発達援助	保育	① 保育課程は、園児の保育に即した内容である。	59	36	5	0	①①～⑥ 全項目にわたって肯定的な評価です。 ② 少数ながら、①「保育課程」③「環境構成」④「素材・用具の活用」⑤「月間指導計画」⑥「月の反省・評価」にC評価が見られます。高評価は身内の評価でもありますので、現状の取組を形骸化することなく、公開に堪える実践を重ねていきましょう。
		② 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている。	36	64	0	0	
		③ 環境の構成を意識した保育を工夫している。	41	50	9	0	
		④ 素材・用具を適切に活用している。	41	50	9	0	
		⑤ 月間指導計画は、季節に合わせたメリハリのある計画を立てている。	45	50	5	0	
		⑥ 月の反省・評価を基に、保育の改善に努めている。	41	50	9	0	
行事		① 行事の種類や実施回数は適切である。	35	48	17	0	① 概ね肯定的な評価ですが、①「種類と実施回数」にC評価が見られます。自由記述では、見直しについての意見も見られますから、減らすという発想ではなく、「再構成する」という視点で見直しを図る方法もあります。前例踏襲やマンネリ化を避ける意味でも、発想を変える機会にできると思います。
		② 行事のねらいが達成されるように創意工夫している。	50	50	0	0	
		③ 子どもは達成感、成就感を感じていると思う。	36	59	5	0	
		④ 行事は、保護者の願いや期待に込めている。	35	61	4	0	
健康安全		① 組織的に健康安全・保健対策を講じている。	57	43	0	0	① 年間を通じた計画的な取組もあって、肯定的な評価です。今後、③「家庭への啓発」④「地域・関係機関との連携」なども工夫・改善の視点に加えていってはどうでしょうか。
		② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している。	70	30	0	0	
		③ 必要な習慣や態度の育成について、家庭への啓発を行っている。	32	59	9	0	
		④ 園児の安全確保のため、地域や関係機関等と連携を図っている。	23	64	14	0	
クラス経営		① クラス目標は、経営方針に基づいて設定している。	77	23	0	0	①② は、C評価が23%です。年間で評価の回数を増やせば、改善されるというものではなく、月案、週案に改善点を生かす意識が大切です。前項目「保育」同様、形骸化・形式化によって、保育実践が劣化することがないように、各クラス内で、保育士同士が緊張感のあるチーム保育を展開していくことが大切です。
		② クラス経営案は、定期的に評価・改善、見直しを図っている。	55	23	23	0	
		③ 役割分担、役割交替によるチーム保育を行っている。	64	32	5	0	
		④ 子どもの育ちを把握する記録や資料を整えている。	59	41	0	0	
		⑤ 週案、月案は、メリハリのある内容を工夫している。	57	33	10	0	
公開		① 保育の様子が積極的に公開されている。	45	41	14	0	① 保育参加日など、公開の機会を生かして工夫した取り組みが設定されています。保護者からは、当園の行事の完成度は高いと評価する声も聴きます。今後は、便りやHPなども含め情報発信の方法を工夫し、当園の良さを発信する姿勢を強めていってはどうでしょうか。
		② 地域や保護者の意見や要望を把握している。	14	59	27	0	
		③ 保育参加日は、ねらいに即した内容になっている。	64	36	0	0	
		④ 保護者面談は、子どもを理解する機会として生かしている。	68	32	0	0	
保護者への	家庭・地域との連携	① 保護者との信頼関係づくりに留意している。	48	48	5	0	①③ は、C評価が45%です。保育園には、地域の子育て支援の役割があります。(努力義務)地域人材の活用も多様な方法が考えられます。基本は、地域に対し双方向でありたいということです。サマーフェスタへの協賛もその一つだと捉えます。
		② 地域の人材を一層活用したほうが良い。	27	55	18	0	
		③ 地域に開かれた施設として活用されている。	5	45	45	5	
		④ 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れている。	23	55	18	5	

項目	質問	評価%				考察	
		A	B	C	D		
支援	① 送迎の際に、保護者に進んで話しかけるようにしている。	39	57	4	0	①②「親同士の交流機会」④「子育て相談」⑤「専門機関との連携」について、25%前後のC評価が見られます。しかし、子育て支援については、日々の積み重ねです。特効薬があるわけではありませんので、現在の取組を継続するとともに、組織として対応すること、保育者一人一人のスキルアップを図ることを大切にしていきたいと思えます。	
	② 親同士が交流できる機会が必要である	18	55	27	0		
	③ 保護者の子育ての悩みを理解し、相談できるように心がけている。	32	68	0	0		
	④ 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している。	23	55	23	0		
	⑤ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図っている。	48	30	22	0		
保育を支える組織的基盤	研修	① 保育指針や保育課程に基づく研修が進められている。	17	61	22	0	①①～④に見られるように、研修の充実期待する評価があります。次年度は、キャリアアップ研修が本格的にスタートします。また、新たな保育指針施行の初年度でもあります。それらの動向を十分踏まえながら、園外研修、園内研修の計画を立案しなければなりません。
		② 園内研修の計画・運営は適切である。	38	50	13	0	
		③ 研修の成果が、日々の保育に生かされている。	25	63	13	0	
		④ 各種研究会、研修会、講習会等に参加しやすい体制である。	21	58	17	4	
		⑤ 研修の成果は、職員に還元されている。	52	48	0	0	
	組織・運営	① 職務内容が明確で、能率的な運営組織である。	24	60	12	4	①各項目とも評価が大きく分かれ、A評価も20%強です。ここからだけでは原因を分析できませんが、違和感を持つ人もいます。自由記述「変わらない利点があり意思疎通しやすい」ことを念頭にだれもが意見を言いやすい職場かを振り返る必要があります。②会議運営は、資料の事前配布を前提に、簡潔な説明とします。
		② 職員の配置は、適材・適所である。	20	52	28	0	
		③ 仕事の分担・割り当ては適切である。	16	56	28	0	
		④ 各種会議・打合せの回数、時間、内容など、運営は適切である。	24	60	12	4	
		⑤ 日常的に、職員の協力体制が良好である。	19	54	27	0	
		⑥ 職員間の「報告・連絡・相談」による意思疎通が図られている。	31	54	15	0	
	管理	① 公文書收受 発送 処理を適切に行っている。	52	43	4	0	①全項目とも、肯定的評価です。 ②①～③は、評価しにくいことは理解できます。
		② 各表簿は、適切に処理、管理されている。	52	43	4	0	
		③ 各種会計は、複数体制で適切に処理している。	43	57	0	0	
		④ 園児や保護者に関する個人情報を通正に取り扱っている。	63	33	4	0	
		⑤ アレルギー対応食は、円滑に提供されている。	83	17	0	0	
	施設・設備	① 施設設備の安全点検を計画的に行っている。	61	35	4	0	①④については、指摘のとおりです。園長室の在不在に関わらず留意しなければなりません。
		② 子どもの遊具や用具は使いやすいように整理・保管している。	58	35	8	0	
		③ 職員用の備品や用具は、使いやすいように整理整頓されている。	62	31	8	0	
		④ 玄関は施錠し、不審者の侵入を防いでいる。	58	27	15	0	
連携	① 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で情報を発信している。	62	35	4	0	①他園や小学校との連携を求める声は9割に及びます。連携を具体化する必要があります。また、小学校への円滑な接続のため、小学校の協力を得ながら、園として取り組むべきことを明確にすることも必要です。	
	② 園の行事や運営の様子を地域社会に周知している。	40	44	16	0		
	③ 他園との連携の必要性を感じる。	36	52	12	0		
	④ 小学校との連携の必要性を感じる。	52	44	4	0		
働きがい	① 働きがいのある職場である。	27	38	31	4	①評価が大きく割れています。特に、②③については、職員一人一人が自分のこととして振り返る必要があります。小さな声に耳を傾けられるかどうか、保育の姿勢と同じです。②④は、評価の観点は様々ですが、管理職として①～③を踏まえた分析や考察が必要です。	
	② 悩みや相談を話すことができる。	19	58	23	0		
	③ 職員一人一人の意見や考えが尊重されている。	20	28	48	4		
	④ 管理職は、リーダーシップを発揮している。	32	44	24	0		